

2. 糸満市の公共交通を取り巻く現況

2-1. 地域現況

(1) 地勢及び地区区分

1) 地勢

糸満市は沖縄本島の最南端、北緯26度8分・東経127度40分に位置する。東側は太平洋、西側は東シナ海に面しており、北側を豊見城市、東側を八重瀬町に接している。

県庁所在地である那覇市から約12km、国道331号バイパスの開通により、沖縄県の玄関口である那覇空港から車で約15分の距離にある。

糸満市の位置



2) 地区区分

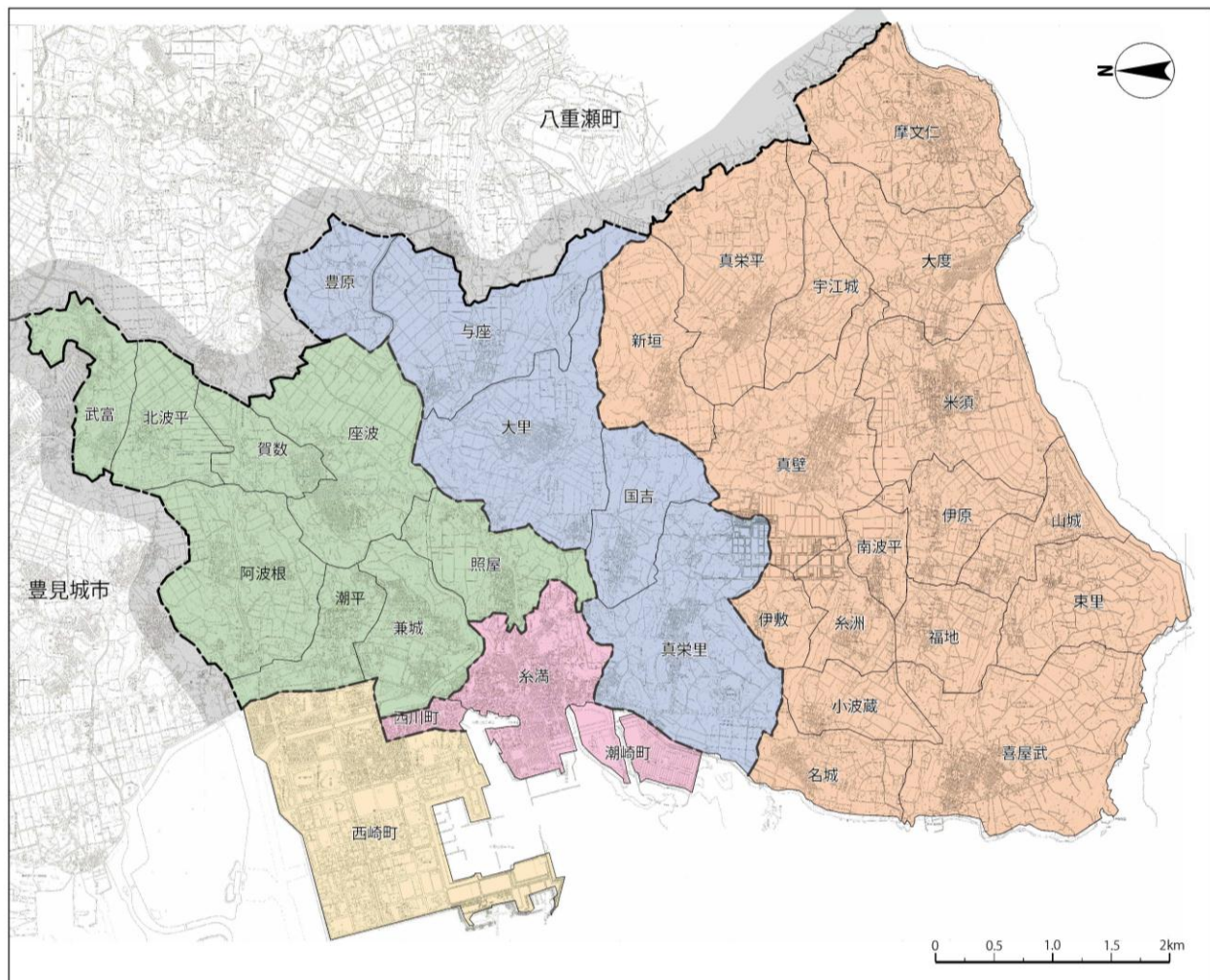
糸満市は34の字等に区分されており、糸満・西崎・兼城・高嶺・三和の5つの地区に分かれている。

本調査にあつては、次に示す字及び町を前提とし、区分ごとに人口分布状況や交通の状況等を整理することとする。

糸満地区	糸満、西川町、潮崎町
西崎地区	西崎町
兼城地区	照屋、兼城、潮平、阿波根、座波、賀数、北波平、武富
高嶺地区	豊原、与座、大里、国吉、真栄里
三和地区	真壁、宇江城、真栄平、新垣、伊敷、名城、小波蔵、糸洲、南波平、喜屋武、束里、福地、山城、伊原、米須、大度、摩文仁

※束里：束里という集落は存在しないが、束辺名、上里を併せて字束里とされていることから、本報告書では、束里とする。

糸満市の地区区分



兼城地区

糸満地区

三和地区

(2) 人口及び高齢化率

1) 人口

糸満市全体の人口は 58,940 人（平成 24 年 3 月末日現在）である。字別にみると、西崎町が 10,706 人（18.2%）で最も多く、次いで字糸満が 10,236 人（17.4%）、字兼城が 5,206 人（8.8%）となっており、市北部に人口が集中している。

また、平成 32 年の人口は、第 4 次糸満市総合計画では 63,000 人になることが見込まれている。

2) 高齢化率

糸満市全体の高齢者率は 15.6%（平成 24 年 3 月末日現在）である。字別にみると、字小波蔵が最も高く 62.1%、次いで字名城が 40.1%、字東里が 36.6%となっており、三和地区等の市南部で高齢化率が高い。（字小波蔵には老人ホームがあるため、高齢化率が高い数値を示している。）

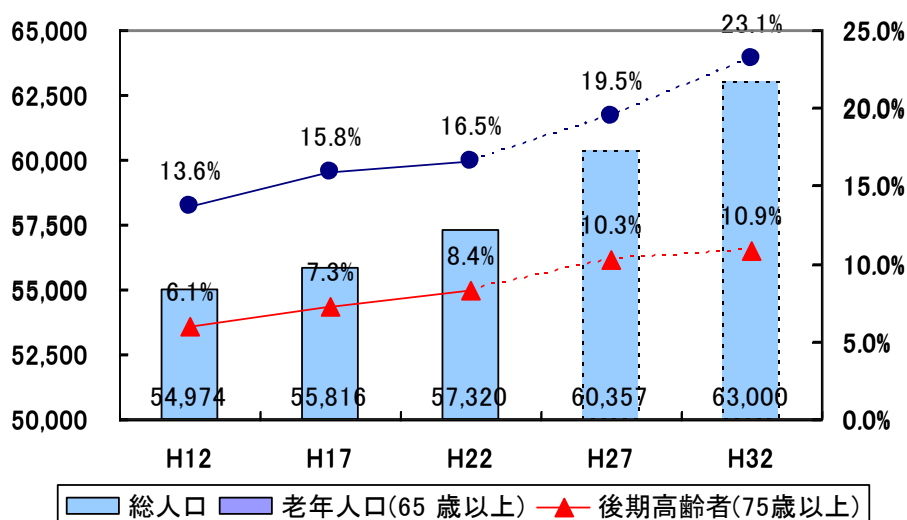
また、平成 32 年の高齢化率は、国立社会保障・人口問題研究所の調査によると 23.1%となり、高齢化の進展を予想している。

糸満市の人口及び高齢化率

		男性		女性		合計	
人 口	総人口	29,620	—	29,320	—	58,940	—
	年少人口 (0～14 歳)	5,629	9.6%	5,309	9.0%	10,938	18.6%
	生産年齢人口 (15～64 歳)	19,954	33.9%	18,840	32.0%	38,794	65.8%
	老年人口 (65 歳以上)	4,037	6.8%	5,171	8.8%	9,208	15.6%
	前期高齢者 (65～74 歳)	2,212	3.8%	2,157	3.7%	4,369	7.4%
	後期高齢者 (75 歳以上)	1,825	3.1%	3,014	5.1%	4,839	8.2%

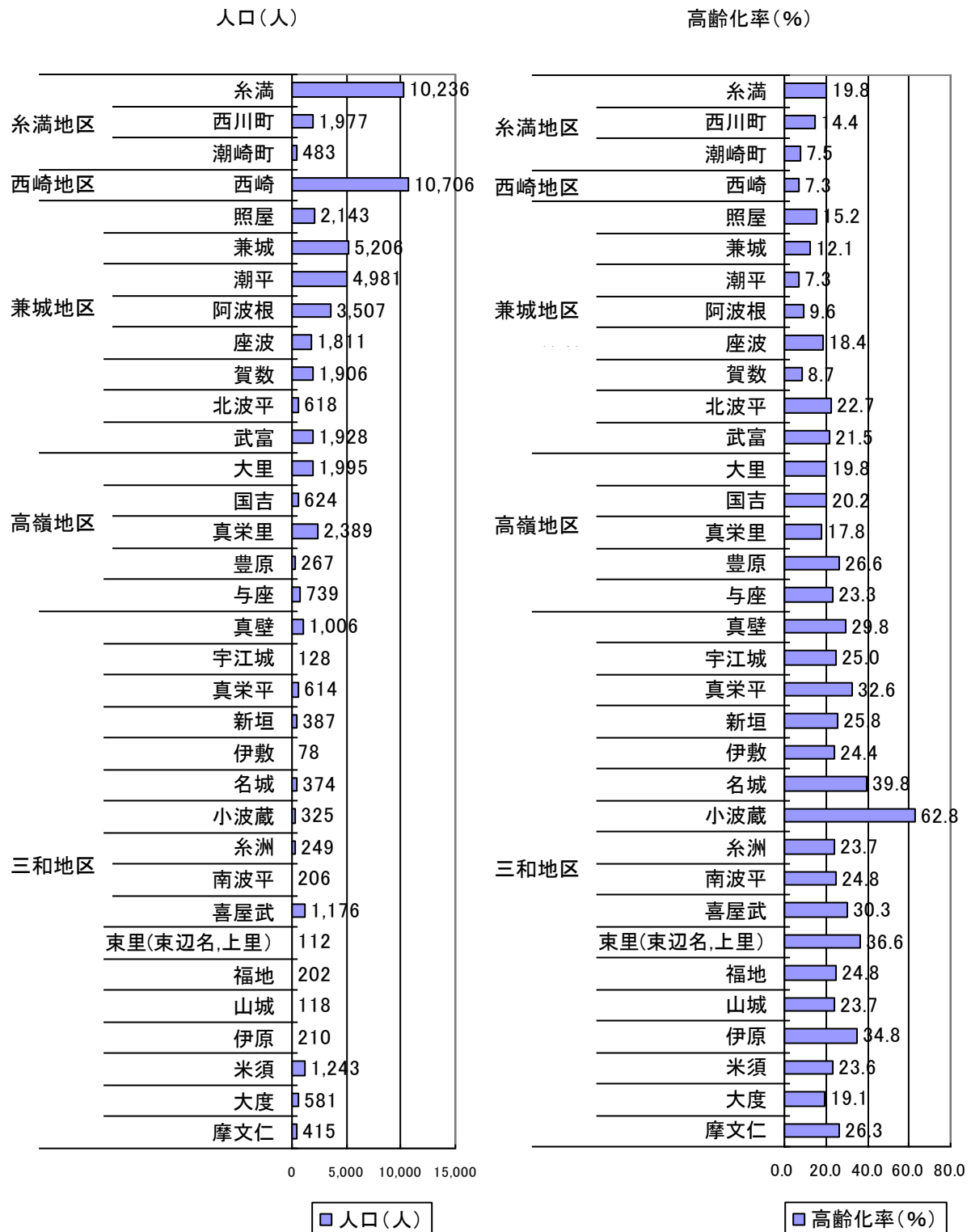
資料：糸満市住民基本台帳（平成 24 年 3 月末日現在）

糸満市の人口及び高齢化率の推移



資料：平成 27 年、平成 32 年高齢化率：国立社会保障・人口問題研究所
 平成 27 年人口：糸満市老人福祉計画及び介護保険事業計画（第 5 期）
 平成 32 年人口：第 4 次糸満市総合計画

字別の人口及び高齢化率



資料：糸満市住民基本台帳（平成 24 年 3 月末現在）

図：人口分布の状況

図：高齢化率の状況

(3) 主要施設の立地状況

糸満市の主要施設の分布状況は、以下の通りである。

NO	名称	NO	名称
主要機関		史跡・文化施設	
1	糸満市役所	51	白銀堂
2	糸満市消防本部	52	山巔毛
3	糸満市がじゅまる児童センター	53	幸地腹門の墓
4	糸満高等学校	54	南山城跡
5	沖縄水産高等学校	55	具志川城跡
6	西崎養護学校	56	米須貝塚
7	糸満中学校	景観・自然	
8	三和中学校	57	喜屋武岬
9	高嶺中学校	58	米須海岸
10	兼城中学校	59	大度浜
11	西崎中学校	60	摩文仁展望台
12	潮平中学校	観光施設	
13	糸満小学校	61	泡盛まさひろギャラリー
14	糸満南小学校	62	道の駅いとまん
15	喜屋武小学校	63	美々ビーチいとまん
16	米須小学校	64	糸満海人工房資料館
17	真壁小学校	65	照屋の石獅子
18	高嶺小学校	66	パームヒルズゴルフリゾートクラブ
19	兼城小学校	67	南山カントリークラブ
20	西崎小学校	68	糸満観光農園
21	潮平小学校	69	ひめゆりの塔
22	光洋小学校	70	ひめゆり平和祈念資料館
23	糸満警察署	71	琉球ガラス村
24	糸満郵便局	72	琉球漆器
25	糸満新島郵便局	73	魂魄の塔
26	兼城郵便局	74	沖縄菩提樹苑
27	喜屋武郵便局	75	平和の礎
28	高嶺郵便局	76	平和祈念資料館
29	三和郵便局	77	平和祈念堂
30	米須簡易郵便局	病院・福祉施設	
31	糸満西崎郵便局	78	南山病院
32	潮平郵便局	79	白銀病院
33	糸満市立図書館	80	勝連病院
34	糸満青年の家	81	南部病院
35	西崎球場	82	西崎病院
36	西崎総合体育館	83	サクラビア
37	西崎陸上競技場	84	糸満晴明病院
38	西崎運動公園プール	85	糸満市社会福祉センター
39	スポーツロッジ糸満	86	沖縄偕生園
公園・緑地		87	白寿園
40	高瀬緑地	88	願寿館
41	西崎親水公園	89	すこやか館
42	真壁公園	90	糸満シャトー
43	ロンドン杜公園		
44	山巔毛公園		
45	西崎近隣公園		
46	みなと公園		
47	西崎運動公園		
48	南浜公園		
49	平和祈念公園		
50	糸満海のふるさと公園		

資料：統計いとまん、糸満市観光ガイドブック、沖縄県南部地区医師会 HP

(4) 自動車交通量及び自動車保有台数

1) 自動車交通量

糸満市の自動車交通量及び混雑度の状況を、平成18年度及び平成22年度の道路交通センサスデータを次ページに整理した。

道路交通センサスの調査断面が、平成18年度と平成22年度では異なるため均一に比較できないものの、概ねの路線別交通量及び混雑度は下図の通りである。

また、平成24年3月に国道331号バイパスが開通したため、平成22年度の道路交通センサスデータから、道路混雑度等の状況は変化していると想定される。

- ・ 国道331号（阿波根）
交通量は10,135台から18,956台と約2倍の増加となっており、混雑度も0.91から2.54へと高くなっている。
- ・ 県道77号線（照屋）
交通量は10,670台から13,011台と約1.2倍の増加となっているが、混雑度は1.13から1.02と低くなっている。
- ・ 県道7号線（真壁）
交通量は4,706台から3,809台と約0.8倍の減少傾向にある。

混雑度の解釈

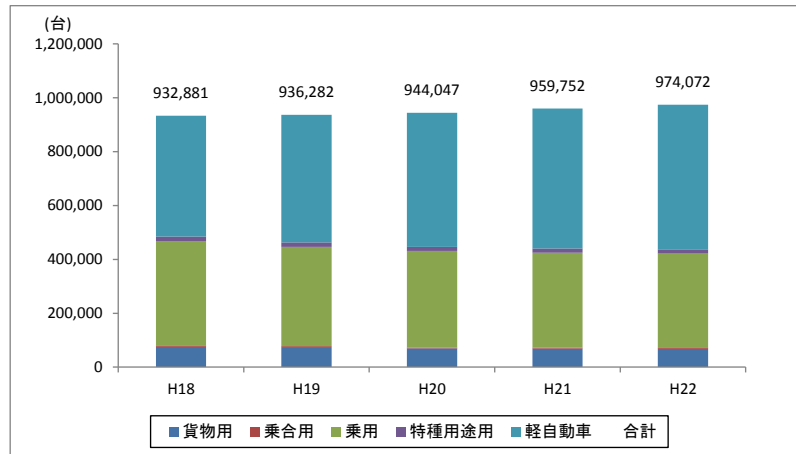
混雑度	交通の状況の推定
1.0未満	昼間12時間を通して道路が混雑することなく円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0～1.25	昼間12時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間（ピーク時）ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状況。ピーク時のみの混雑度から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
1.75以上	慢性的な混雑状態を呈する。

図. 混雑度等

2) 自動車保有台数

沖縄県及び糸満市の自動車保有台数の推移を以下に示す。自動車保有台数は平成18年から平成24年までの間で増加傾向にあるが、バス等の乗合自動車は減少傾向となっている。

自動車保有台数の推移（沖縄県）



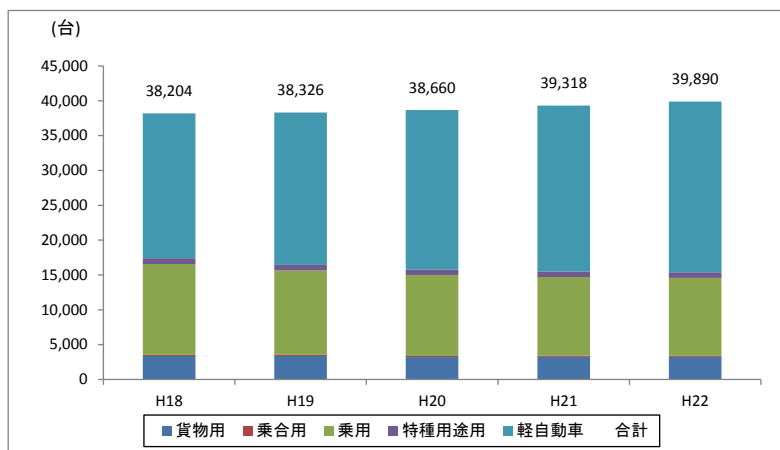
■沖縄県自動車保有台数

単位：台

	貨物用	乗合用	乗用	特種用途用	軽自動車	合計
H18	75,625	3,255	389,139	16,609	448,253	932,881
H19	74,613	3,238	368,480	16,490	473,461	936,282
H20	69,286	3,181	358,477	15,415	497,688	944,047
H21	69,115	3,199	352,216	15,579	519,643	959,752
H22	68,044	3,188	350,389	15,607	536,844	974,072

資料：沖縄県統計年鑑（沖縄県）

自動車保有台数の推移（糸満市）



■糸満市自動車保有台数

単位：台

	貨物用	乗合用	乗用	特種用途用	軽自動車	合計
H18	3,378	150	13,059	817	20,800	38,204
H19	3,372	153	12,101	813	21,887	38,326
H20	3,226	159	11,604	766	22,905	38,660
H21	3,255	168	11,290	776	23,829	39,318
H22	3,228	169	11,196	787	24,510	39,890

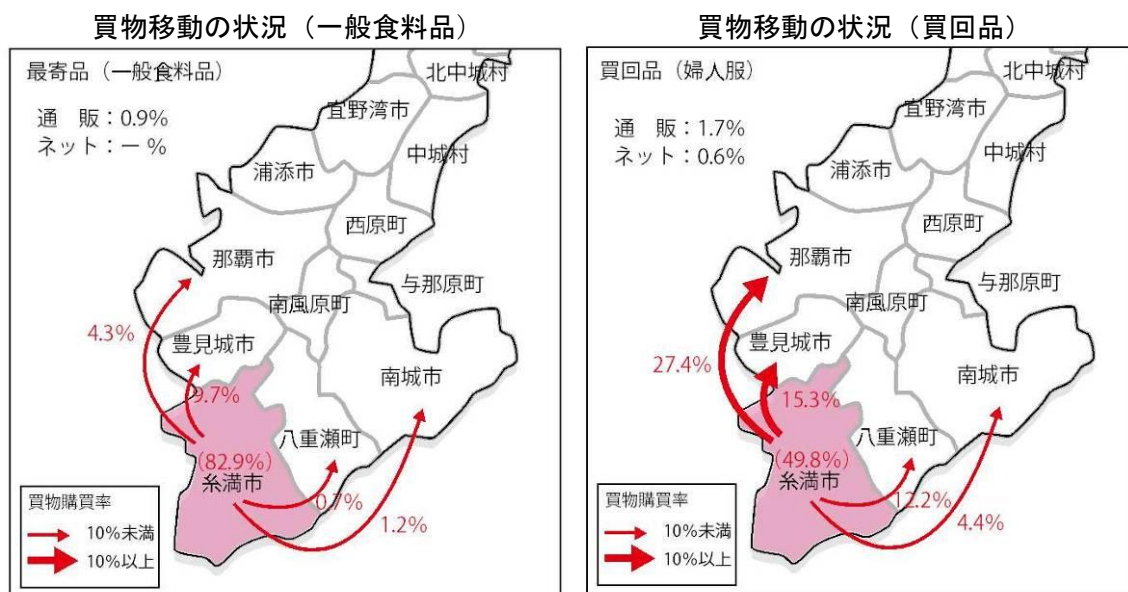
資料：沖縄県統計年鑑（沖縄県）

(5) 生活移動の状況

1) 買物

買物の移動状況は、最寄品（一般食料品）の地元購買率は 82.9%と県平均よりも高い。一方、買回品（婦人服）の地元購買率は 49.8%と県平均よりも低く、那覇市に 27.4%、豊見城市に 15.3%の流出がみられる。

また、買物の移動手段としては、「自家用車」が 88.6%と最も利用されている。「バス・タクシー」は 1.6%である。



単位：%

南部圏域	買回品(婦人服)		最寄品(一般食料品)	
	地元	地元外	地元	地元外
那覇市	81.9	18.1	87.1	12.9
浦添市	48.7	51.3	83.5	16.5
豊見城市	49.2	50.8	76.6	23.4
糸満市	49.8	50.2	82.9	17.1
南風原町	58.6	41.4	82.3	17.7
県平均	53.6	46.4	77.8	22.2

		徒歩	バス・タクシー	自家用車	自転車・バイク	モノレール	その他	合計
人数	糸満市	25	6	325	9	0	2	367
構成比	糸満市	6.8%	1.6%	88.6%	2.5%	0.0%	0.5%	100.0%
	県平均	12.1%	3.4%	81.2%	2.4%	0.2%	0.7%	100.0%

資料：平成 22 年度 沖縄県買物動向調査報告書（平成 23 年 3 月）

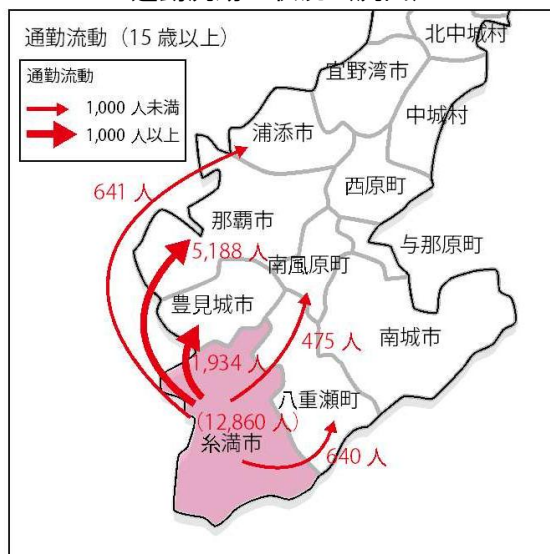
2) 通勤・通学

通勤の状況は、糸満市内の就業が 12,860 人（52.9%）と最も多く、次いで那覇市が 5,188 人（21.4%）、豊見城市が 1,934 人（8.0%）と続いている。

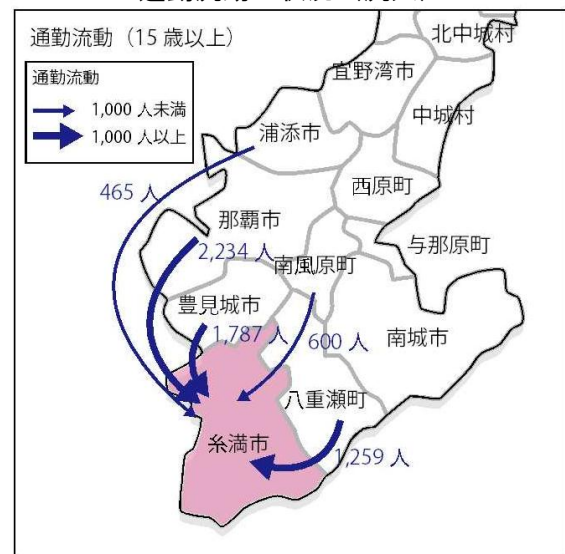
通学の状況は、糸満市内の通学が 43.9（1,579 人）と最も多く、次いで「那覇市」が 634 人（17.6%）、八重瀬町が 302 人（8.4%）と続いている。

また、通勤・通学の移動手段としては、糸満市内への通勤・通学、他市町村への通勤・通学ともに「自家用車」が最も利用されている。「乗合バス」の利用は、糸満市内へ通勤・通学者のうち 300 人（2.5%）、他市町村への通勤・通学者のうち 1,040 人（8.2%）である。

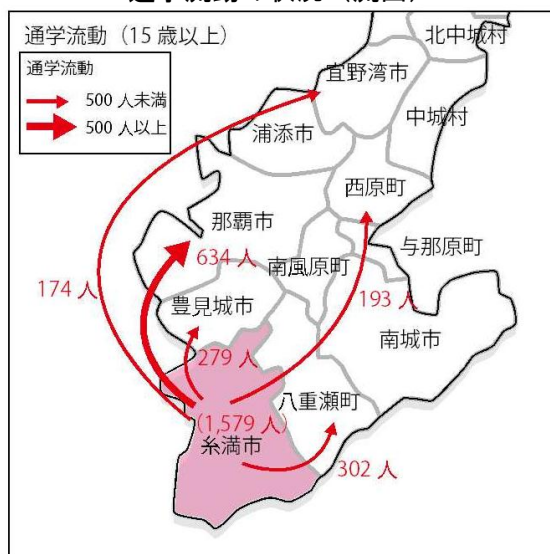
通勤流動の状況（流出）



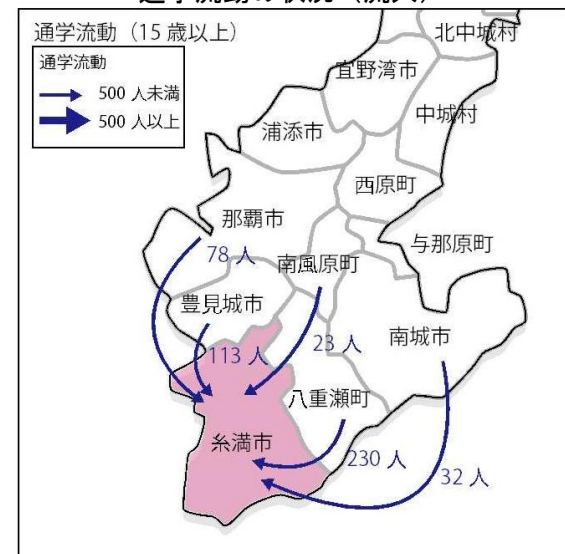
通勤流動の状況（流入）



通学流動の状況（流出）



通学流動の状況（流入）



通勤・通学の移動手段の状況

□	通勤・通学者数(人)		構成比(%)	
	糸満市内 に通勤・通学	他市町村 に通勤・通学	糸満市内 に通勤・通学	他市町村 に通勤・通学
徒歩だけ	1,875	85	15.6%	0.7%
鉄道・電車	1	107	0.0%	0.8%
乗合バス	300	1,040	2.5%	8.2%
勤め先・学校のバス	85	107	0.7%	0.8%
自家用車	8,165	9,697	67.9%	76.8%
ハイヤー・タクシー	65	47	0.5%	0.4%
オートバイ	685	1,465	5.7%	11.6%
自転車	609	239	5.1%	1.9%
その他	288	252	2.4%	2.0%
不詳	273	293	2.3%	2.3%
全 体	12,031	12,626	100.0%	100.0%

資料：平成 22 年国勢調査

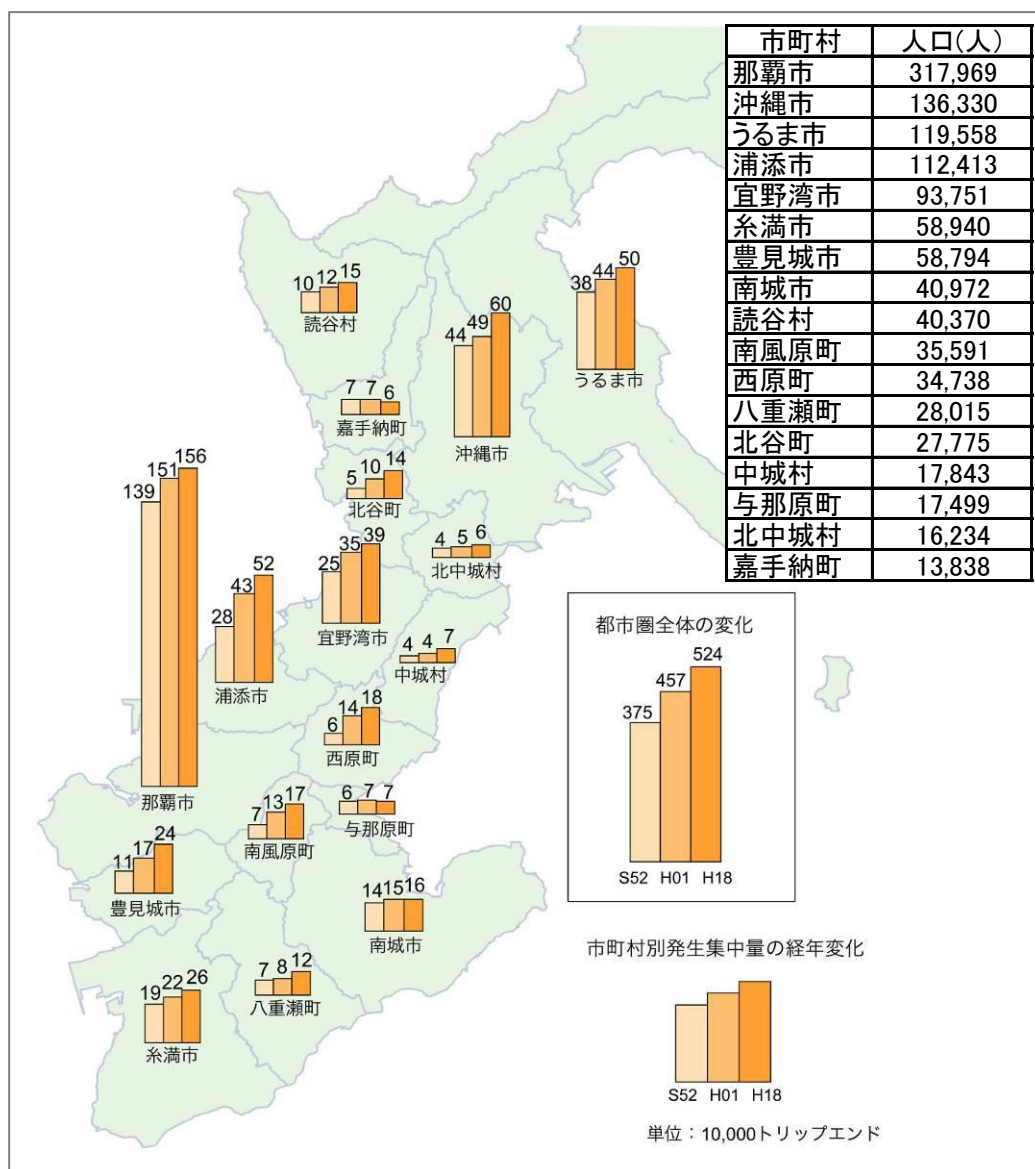
3) 中南部全体の移動

沖縄県の中南部市町村における移動の概況として、平成 18 年に実施された中南部パーソントリップ調査から中南部都市圏のトリップ数は以下の通りであり、概ね人口規模に比例したトリップ数となっている。

また、糸満市における代表交通手段別の発生量・集中量及び構成比をみると自動車が最も多く、発生量は 95,093 トリップ（73.2%）、集中量は 94,696 トリップ（72.9%）となっている。バスは発生量で 2,555 トリップ（構成比 2.0%）集中量 2,728 トリップ（構成比 2.1%）と少なく、移動において自動車への依存が高いことが分かる。

※トリップ：人がある目的をもって、ある地点からある地点への移動する単位をトリップといい、1 回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても 1 トリップという。

県中南部の市町村別発生集中量の経年変化



資料：平成 18 年沖縄中南部都市圏パーソントリップ調査（沖縄県）

(6) 観光移動の状況

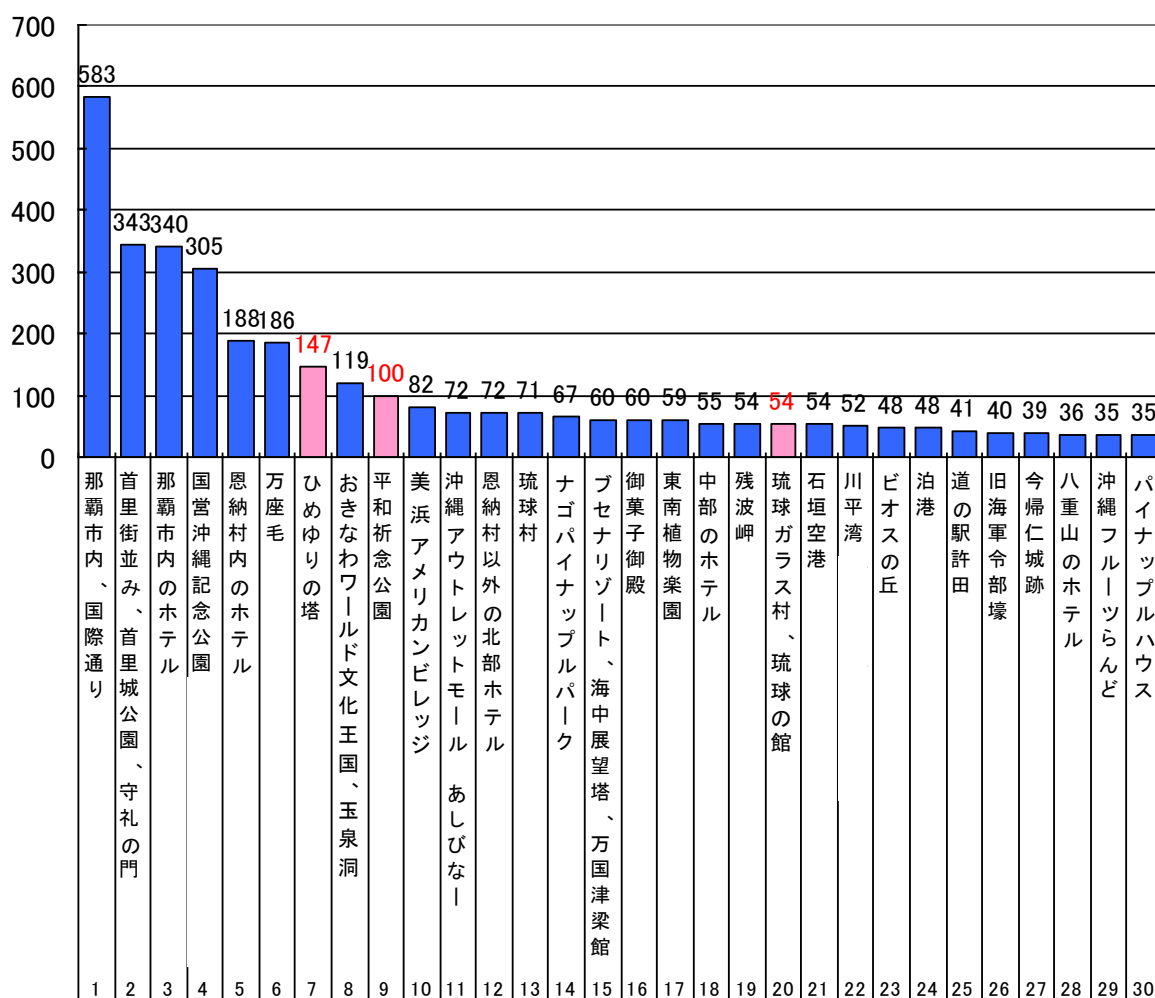
1) 訪問地域

糸満市の観光の状況について、「観光客移動利便性向上対策調査(平成16年3月)」によると、「ひめゆりの塔」「平和祈念公園」「琉球ガラス村」が、沖縄観光の立ち寄り先上位30位に入っている。

沖縄県全体でみると、「那覇市内、国際通り」が最も多く、ついで「首里街並み、首里城公園、守礼の門」、「那覇市内のホテル」と那覇市が上位3位を占めている。

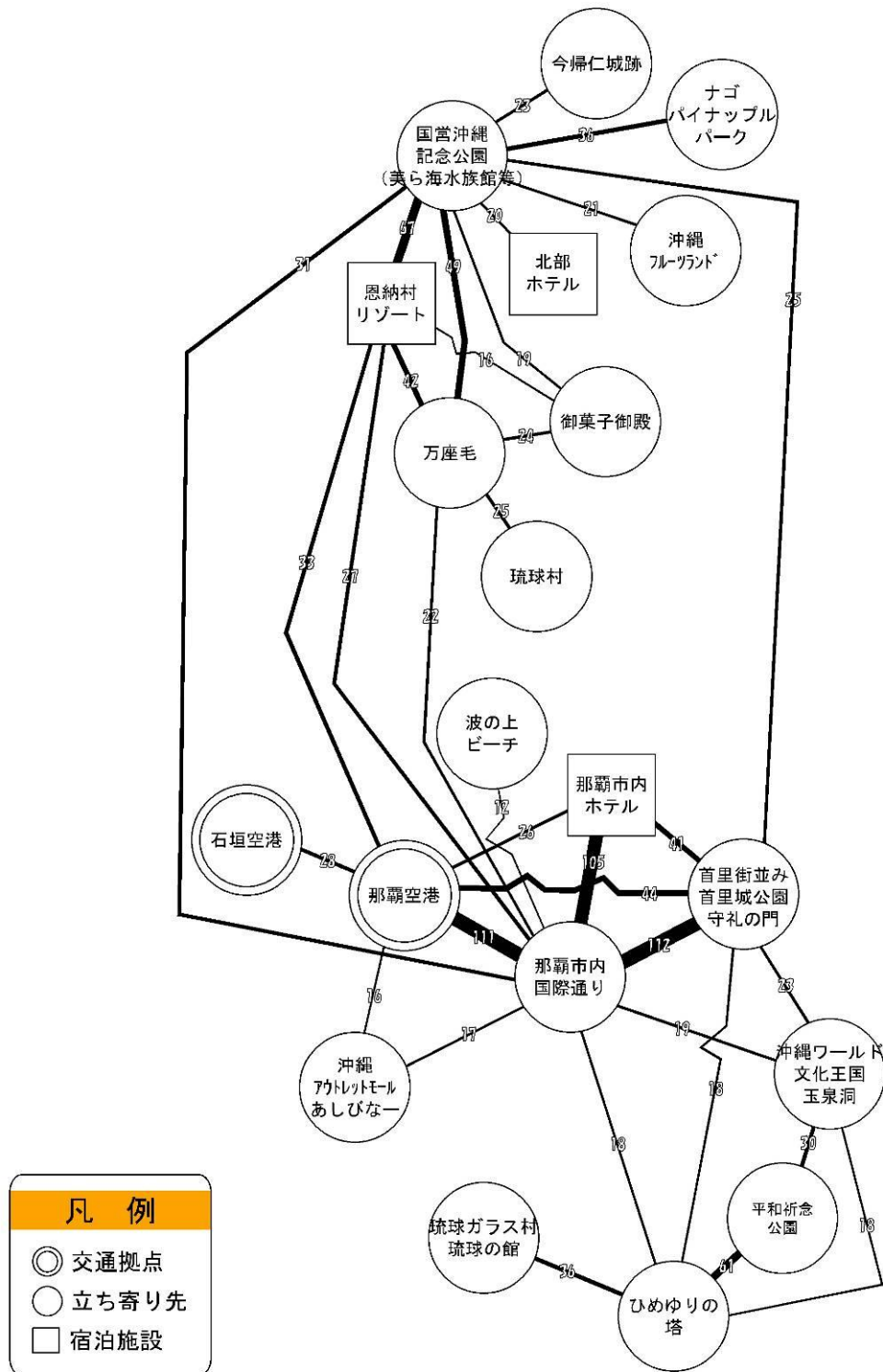
南部観光についても、那覇市内を宿泊拠点としていると考えられるが、平成21年糸満市に大型観光ホテルが建設されたことにより、糸満市を拠点とした沖縄観光が可能となってきた。

立ち寄り先上位30位(n=6,067)



資料：観光客移動利便性向上対策調査（平成16年3月 沖縄県）

■立ち寄り先上位 30 位間のパーソントリップ（※15 以上の流動）

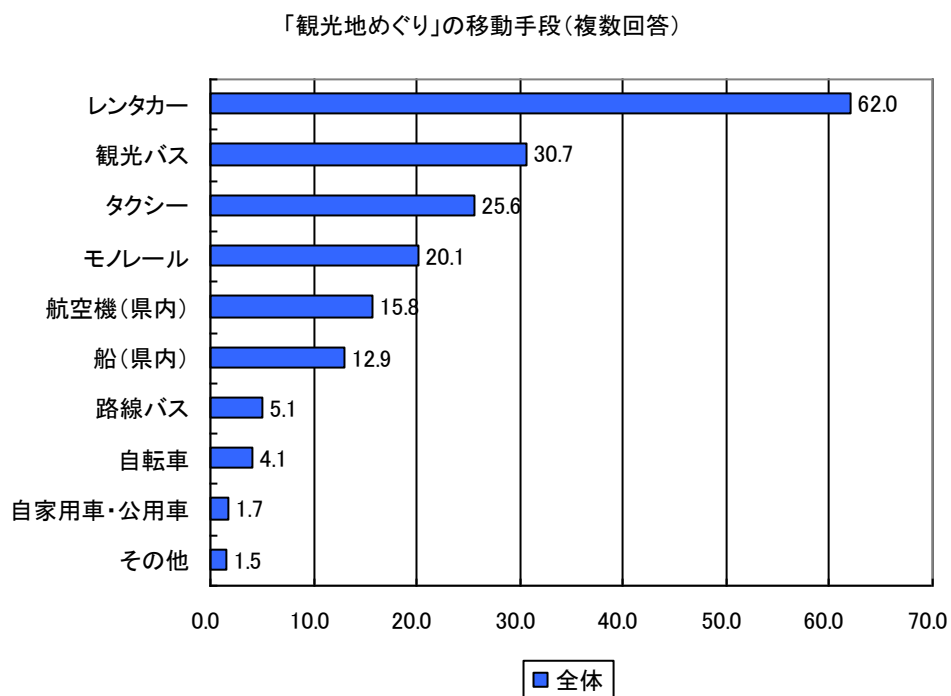


資料：観光客移動利便性向上対策調査（平成 16 年 3 月 沖縄県）

2) 移動手段

「平成 23 年度観光統計実態調査アンケート」によると、移動手段では「レンタカー」が 62.0%と最も高い。次いで、「観光バス」30.7%、「タクシー」25.6%と続く。

また、訪問回数が多いほど「路線バス」や「自転車」など、様々な交通手段の利用率が上昇する傾向がみられる。



		訪問回数							全体
		初めて	2回目	3回目	4回目	5～9回目	10～19回目	20回以上	
交通機関	レンタカー	58.0	56.9	64.3	67.7	69.5	64.7	67.6	62.0
	観光バス	38.1	37.1	31.9	23.2	19.8	15.1	10.3	30.7
	タクシー	24.4	22.8	25.1	24.7	27.4	36.1	35.3	25.6
	モノレール	24.2	17.0	16.7	17.7	19.8	21.8	27.9	20.1
	航空機(県内)	9.3	15.5	21.3	21.7	18.6	15.1	22.1	15.8
	船(県内)	7.3	11.6	17.0	19.2	16.4	14.3	17.6	12.9
	路線バス	5.3	2.6	3.8	5.6	7.6	8.4	10.3	5.1
	自転車	1.2	2.8	6.1	7.1	6.2	5.9	10.3	4.1
	自家用車・公用車	0.6	1.9	1.5	2.5	1.7	4.2	5.9	1.7
	その他	0.3	1.7	1.2	1.0	2.5	3.4	4.4	1.5
合計		110.7	113.0	124.6	122.7	120.0	124.3	144.1	117.5

資料：平成 23 年度観光統計実態調査アンケート（平成 24 年 3 月 沖縄県）

2-2. 路線バスの状況

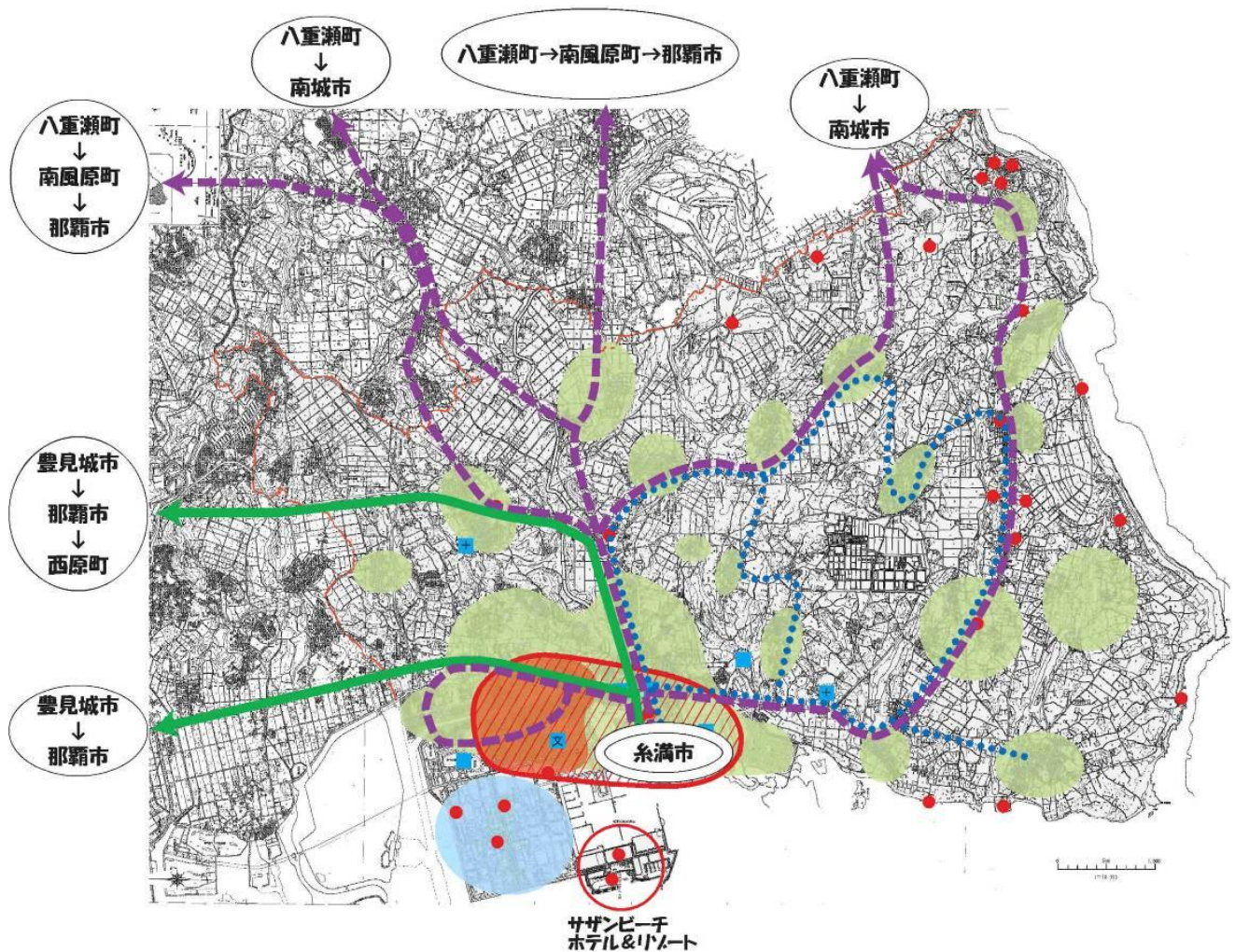
(1) ネットワークの状況

現在、糸満市には、琉球バス交通・沖縄バス・那覇バスによる路線バスが運行されており、市内循環線2路線を含む16路線が糸満市内を通過・循環している。

琉球バス交通と沖縄バスは、糸満バスターミナルを中心に豊見城市や八重瀬町を経由して那覇バスターミナル（沖縄バスの一部路線は那覇新都心）方面へ行く路線と、南部支線（ほとんど糸満市内線のようなルートの路線）に大きく分かれるが、中には与那原町や南城市方面に行く路線もある。

那覇バスは、2社とは別のところにある糸満営業所から豊見城市や那覇市を経由して西原町への路線バスが運行されている。

図. 路線バスのネットワーク



凡例

—	幹線系	 	市街地	 	住宅地	 	公共施設
---	準幹線系	 	新市街地	 	工業地	●	観光地
...	支線系						

(2) 運行状況

糸満市内のバスの運行状況は、平成18年度と比較すると3系統増えている。しかしながら、便数は平日で約50本、休日で約10本減少している。

■糸満市内の路線バスの運行状況

※()内数字は市役所経由、市役所行きの本数

系統番号	系統名	運行系統			運行本数 (平日)		運行本数 (土日祝日)		社別
		起点	主たる経過地	終点	上り	下り	上り	下り	
33	糸満西原線	糸満営	小那覇・安里・小禄・豊見城	西原営	9	9	8	8	那
34	糸満(東風平)線	那覇	開南・国場・東風平・富盛	糸満バ	20 (4)	24 (7)	15 (5)	16 (5)	沖
234	糸満(東風平おもろまち)線	おもろまち駅前広場	開南・国場・東風平・富盛	糸満バ	3	3	6	4	沖
35	糸満(志多伯)線	那覇	開南・寄宮・国場・志多伯・座波	糸満バ	22 (6)	18 (4)	16 (4)	15 (6)	沖
235	糸満(志多伯おもろまち)線	おもろまち駅前広場	開南・寄宮・国場・志多伯・座波	糸満バ	4 (1)	6 (1)	4 (1)	6 (1)	沖
36	糸満新里線	糸満バ	志多伯(富盛)・東風平・仲程・与那原・新里	休暇センター	4	4	3	3	沖
46	糸満西原線(保栄茂廻り)	西原営	小那覇・首里駅前・小禄・豊見城・保栄茂	糸満営	19	19	16	16	那
	糸満西原線(団地廻り)		小那覇・首里駅前・小禄・豊見城・武富ハイツ		16	16	12	12	
81	西崎・向陽高校線	糸満バ	水産高校・高嶺・具志頭・向陽高校前	玉泉洞	2	2	—	—	琉
82	玉泉洞糸満線	糸満バ	名城・ひめゆりの塔前・具志頭	玉泉洞	12 (4)	12 (3)	11	11	琉
85	国吉(大里廻り)線	糸満バ	高嶺・国吉・真栄里	糸満バ	4 (1)	—	—	—	琉
86	国吉(真栄里廻り)線	糸満バ	真栄里・国吉・高嶺	糸満バ	2	—	—	—	琉
89	糸満(西高校)線	那覇	開南・旭橋・那覇西高校前・高良・潮平	糸満バ	96	96	66	66	沖・琉
	糸満(西高校・西崎)線		開南・旭橋・那覇西高校前・高良・西崎		10	10	10	8	
	糸満(航空隊)線		開南・旭橋・航空隊前・高良・潮平		9	9	7	7	
100	白川線	那覇	開南・寄宮・国場・徳洲会病院・志多伯・座波	糸満バ	3 (2)	3 (1)	—	—	沖
200	白川(糸満おもろまち)線	那覇	開南・寄宮・国場・徳洲会病院・志多伯・座波	糸満バ	4	2	1	1 (1)	沖
107	南部循環線(真壁・喜屋武廻り)	糸満バ	高嶺・真壁・米須・喜屋武	糸満バ	11 (1)	—	9	—	琉
108	南部循環線(喜屋武・真壁廻り)	糸満バ	喜屋武・米須・真壁・高嶺	糸満バ	9 (2)	—	6	—	琉

那覇：那覇バスターミナル、糸満バ：バスターミナル、糸満営：糸満営業所、西原営：西原営業所

資料：各バス交通会社時刻表(平成24年9月4日現在)

※平成22年3月1日実施の新ダイヤより、【糸満市役所前】経由は廃止

※表中の網掛けはH18年より増えた路線である。

(3) 不採算路線への補助金拠出状況

市内を通過・循環しているバス路線 16 路線のうち、那覇市へ向かう路線は採算性が確保されているものの、国吉線、南部循環線、玉泉洞糸満線、新里線の 4 路線は不採算路線となっている。

糸満市では、補助金を拠出し、市内の公共交通網を維持している状況である。平成 21 年度に路線バスの運行本数等の見直したことにより、補助金額の減少がみられるが、その後は増加傾向にある。

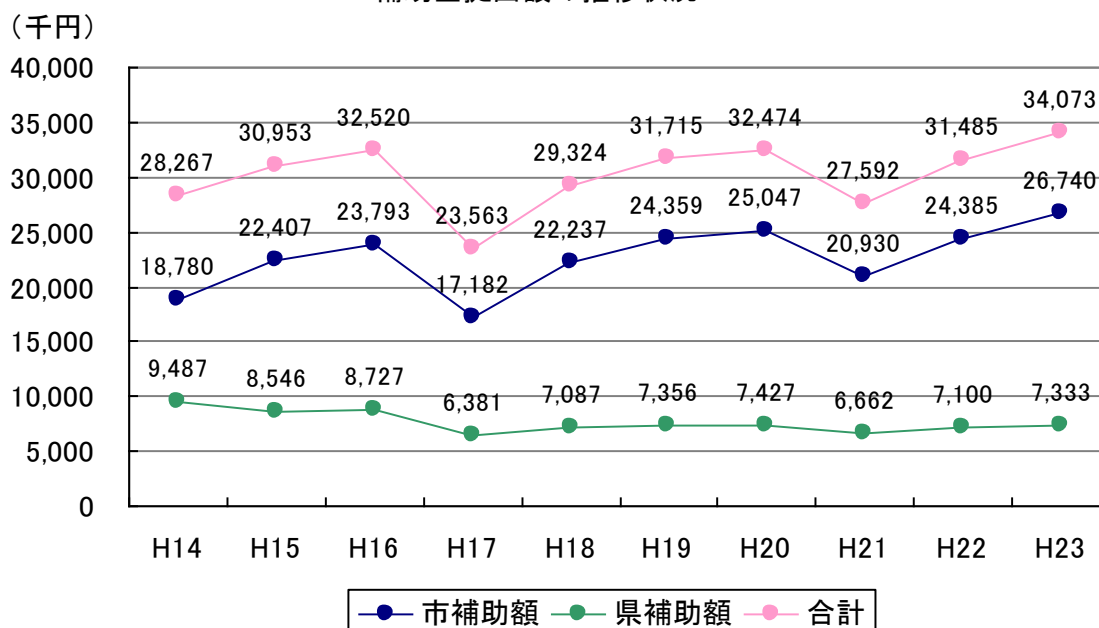
■糸満市赤字路線バス事業費の推移

単位:千円

路線名	財源内訳	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	合計
国吉線 (琉球バス)	市補助額	1,752	1,395	1,473	847	1,466	1,540	1,732	1,476	1,672	1,779	15,132
	県補助額	1,268	1,047	1,006	594	655	672	696	628	645	672	7,883
	合計	3,020	2,442	2,479	1,441	2,121	2,212	2,428	2,104	2,317	2,451	23,015
南部循環線 (琉球バス)	市補助額	11,658	12,394	12,488	9,176	12,873	13,590	14,753	12,679	14,244	14,798	128,653
	県補助額	7,958	7,499	7,182	5,213	5,864	6,096	6,296	5,730	5,848	6,076	63,762
	合計	19,616	19,893	19,670	14,389	18,737	19,686	21,049	18,409	20,092	20,874	192,415
玉泉洞糸満線 (琉球バス)	市補助額	3,297	6,130	7,050	3,887	4,536	5,710	6,590	5,391	7,418	9,107	59,116
	県補助額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	直接バス会社に補助される
	合計	3,297	6,130	7,050	3,887	4,536	5,710	6,590	5,391	7,418	9,107	59,116
新里線 (沖縄バス)	市補助額	2,073	2,488	2,782	3,272	3,362	3,519	1,972	1,384	1,051	1,056	22,959
	県補助額	261	0	539	574	568	588	435	304	607	585	4,461
	合計	2,334	2,488	3,321	3,846	3,930	4,107	2,407	1,688	1,658	1,641	27,420
合計	市補助額	18,780	22,407	23,793	17,182	22,237	24,359	25,047	20,930	24,385	26,740	225,860
	県補助額	9,487	8,546	8,727	6,381	7,087	7,356	7,427	6,662	7,100	7,333	76,106
	合計	28,267	30,953	32,520	23,563	29,324	31,715	32,474	27,592	31,485	34,073	301,966

資料:平成24年度糸満市バス対策会議資料

補助金拠出額の推移状況



※平成 20 年度より送迎バス活用モデル事業（ブーゲンビレア号）開始

（４）公共交通空白地域の状況

現在、糸満市内を走る路線バスのバス停から 400m の距離をプロットし、バス停までの利用限界距離（400m）を超えたエリアと字との関係を確認すると、糸満市の大部分の字は、バス停までの利用限界距離（400m）内に収まっているが、三和地区の字東里・字山城や、兼城地区の字阿波根・字兼城等でバスの大規模な空白地帯がみられる。

また、南部地域では運行本数が 1 日 15 本以下の路線が多く、公共交通を利用しづらい状況にある地域もある。

※公共交通の利用限界距離（公共交通空白地域）

バス停までの距離と利用水準との関係では、一般的に 400m がほぼ限界水準と言われており、バス停留所から半径 400m を利用限界距離とした。

資料：中国運輸局調査資料

※公共交通不便地域

路線バスは運行しているものの、運行回数が少なく利便性が高くない地域を公共交通不便地域とした。（平成 18 年調査と同じ基準で 1 日の運行回数が 15 本未満と設定した。）

▼バス停までの距離の利用限界水準

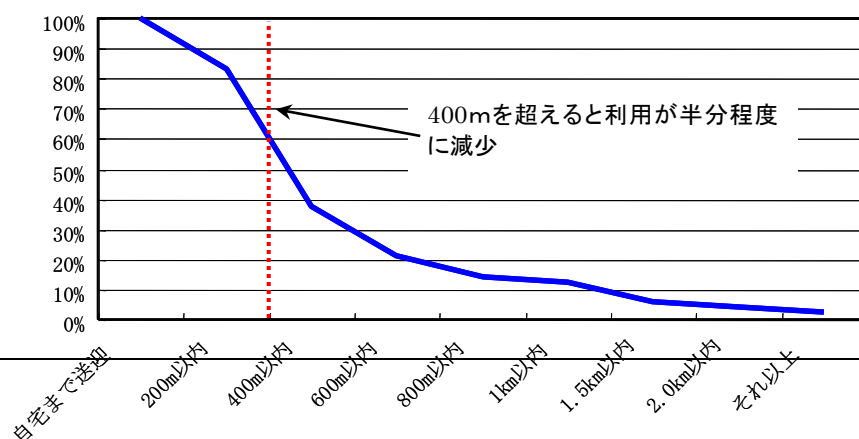


図. 路線図

図. 公共交通の不便地域の状況

2-3. その他公共交通機関の状況

(1) 民間施設送迎バス（ブーゲンビリア号）

民間事業者の協力により運行する送迎バスの空席を活用し、高齢者の外出支援や交通不便地域の改善を図ることを目的として、市は送迎バス活用モデル事業（ブーゲンビリア号）を実施している。

ブーゲンビリア号の年間利用者数は、平成23年度は13,459人である。また、申込者数の累計は630人となっている。

【事業の概要】

- ・事業開始年：平成20年5月20日
- ・協力事業者：糸満自動車学校、南部病院、西崎病院、ソフィア※
※ソフィアは西崎病院の母体である以和貴会が運営。
- ・利用対象者：市内在住の満65歳以上で送迎バスに一人で乗降できる者。
- ・利用方法：事前申請後に乗車証交付後に利用可能。（利用料金は無料）
- ・運行コース：11コース
- ・定員数：176人（バス14台の総席数）

運行コース一覧

協力事業者	コース数	コース名	送迎便数	
			月～金	土
糸満自動車学校	5コース	喜屋武・米須方面	4	3
		具志頭方面	6	6
		西崎・豊見城方面	6	6
		東風平方面	6	6
		小禄方面	6	6
南部病院	4コース	豊見城線	12	2
		糸満南部線	8	0
		具志頭線	7	0
		西崎線	6	0
西崎病院	2コース	市内巡回線A	12	12
		市内巡回線B	12	12

ブーゲンビリア号利用者数等（人）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
利用者数	6,177	12,937	13,558	13,459
月平均利用者数	562	1,078	1,130	1,122
申込者数	373	108	89	60
申込者数累計	373	481	570	630

図. ブーゲンビレア号路線図等

（２）移動支援事業（リフトバス）

糸満市内の住民で公共輸送機関などに自力での乗車が困難な者を、車椅子のまま乗車が可能なリフト付き車両により目的地まで送迎するサービスが実施されている。事業の概要は以下の通りである。

【事業の概要】

- ・実 施 機 関：糸満市 社会福祉協議会
- ・利用対象者：車椅子利用者と重度の肢体不自由者
- ・利 用 方 法：事前に糸満市社会福祉課に申請し、承認後に利用可能
- ・利 用 料：無料

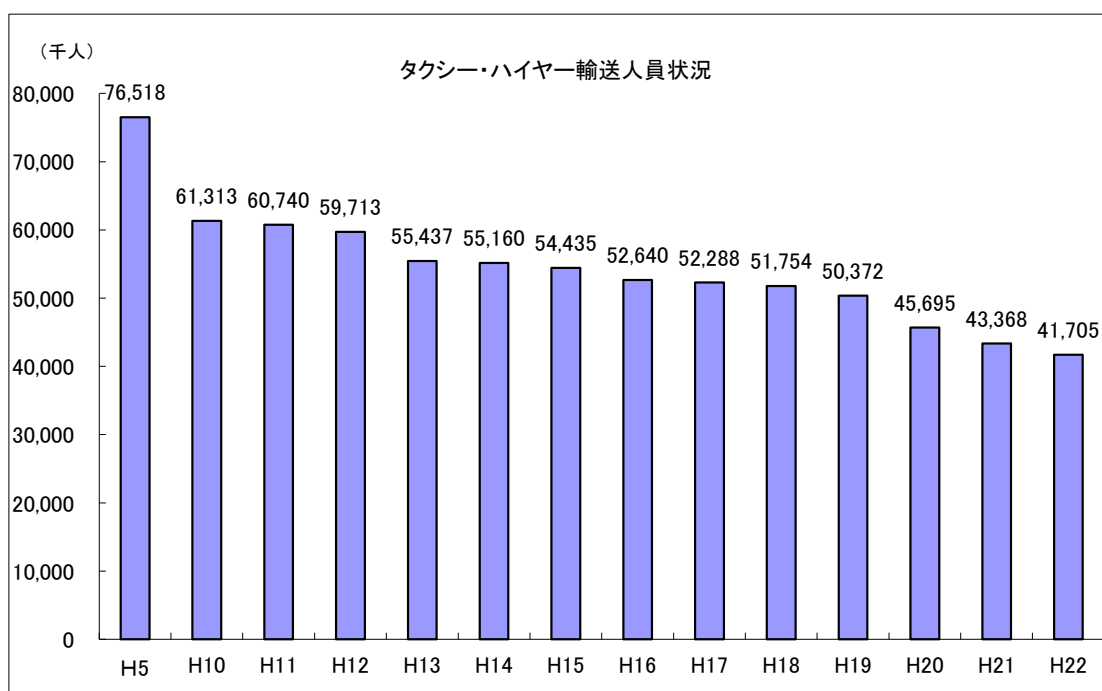
(3) タクシーの状況

沖縄県本島のタクシー・ハイヤーの輸送状況は以下の通りであり、平成5年から年々減少傾向にあり、平成22年度では41,705千人と約45%減少しており、路線バスと同じく減少傾向にある。

タクシー輸送人員数の推移（千人）

	平成 5年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
沖縄本島 (法人)	71,777	57,127	55,339	54,970	51,672	51,558	50,764	49,318	49,042	48,598	47,262	42,771	40,528	38,977
沖縄本島 (個人)	4,741	4,186	5,401	4,743	3,765	3,602	3,671	3,322	3,246	3,156	3,110	2,924	2,840	2,728
計	76,518	61,313	60,740	59,713	55,437	55,160	54,435	52,640	52,288	51,754	50,372	45,695	43,368	41,705

タクシー輸送人員数の推移



資料：運輸要覧（沖縄総合事務局運輸部）

糸満市には以下のタクシー事業者があり、それぞれの車両保有台数は以下の通りである。

タクシーについては平成 18 年度から平成 22 年度で 7 台減少しており、介護タクシーは 5 台の増加となっている。

タクシー事業者および保有台数

事業者名	H18年	H22年
ラッキー交通(名)	22	39
糸満タクシー(名)	51	40
(株)共和交通	35	31
(名)国際タクシー	16	15
ときわ交通(資)	43	36
南光タクシー(名)	11	10
合計	178	171

資料：沖縄総合事務局 陸運事務所 業務概要

介護タクシー事業者および保有台数

事業者名	H18年	H22年
介護タクシーかりゆし	1	1
社会福祉法人糸満市社会福祉協議会	1	1
介護タクシーでいご	1	2
介護タクシーげんき	－	2
沖縄県福祉事業協同組合	－	2
株式会社だいこんの花	－	1
社会福祉法人沖縄偕生会	1	－
合計	4	9

資料：沖縄総合事務局 陸運事務所 業務概要
